

第2学年 国語科学習指導案

1. 単元名 すすんで話したり聞いたりしよう 「何に見えるかな」

2. 単元のねらい

- ちぎり絵の見え方について、友だちとの話し合いを楽しむ。 【関心・意欲・態度】
- 理由をはっきりさせて話したり、友だちの話をよく聞いて、質問や感想を言ったりすることができる。 【話す・聞く】

3. 指導にあたって

こんな子どもだから

- 本学級の子どもたちは、自分が経験したこと・見つけたこと・分かったこと・気付いたこと・できるようになったことなどを「話したい、聞いてほしい」という気持ちが強い。しかし、相手に分かるように話したり、相手の話を注意して聞こうとしたりする態度はまだ育っているとは言えない。
- 「あったらいいな、こんなもの」の単元では、自由に想像したものを相手に分かるように話す学習をしてきた。その際、相手に分かりやすく話すために二人組でアドバイスしあう対話を初めて経験している。しかし三、四人のグループで話題に沿った話し合いをする経験は、まだ十分とはいえない。
- 本単元「何に見えるかな」は、ちぎり絵を作りいろいろな角度から自由に発想をふくらませて、楽しみながら理由をつけて見え方を話すことができる題材である。また、聞き手も質問や感想を伝えやすく、進んで話したり聞いたりすることを通して表現する力を育てるのに適した教材であるといえる。

キラキラ学習とのかかわり

- 子どもたちは、「わくわく○○○たんけんたい」の学習で、自分が住んでいる地域に興味を持ち、通学路を中心に探検して、校区の「ひと・もの・こと」に数多く触れ合ってきている。また、国語科で対話の仕方を段階を追って学習したことで、自分の思いを五感を使った言葉で表現できるようになってきた。また、相手の思いを受けとめて、交流することも少しずつできるようになってきている。
- 本単元で、話したいことについて理由をはっきりさせて話すことは、子どもたちがお互いの考えの違いを受けとめやすくすることにつながる。また、進んで質問や意見を出し合って話し合うことは自分の考えを深めたり、お互いのよさを理解することにつながると考える。そして、○
- キラキラ学習において、身近な人に自分の思いや願いを積極的に自信をもって表現したり、話題に沿って話し合ったりしながら自分の考えをもつことができると考える。

支援

- 一つの形からいろいろな見え方を発見できるように、円い台紙にちぎり絵を貼らせて向きの違いにも気付かせ、子どもの発想を生かしていく。
- モデルを通して、話す時・聞く時に大切なことをつかませる。
- グループ毎にいすを寄せて、話しやすい場を設定する。
- 付箋を使って考えを出させ、それをもとに話し合いをさせることにより、考えの広がりにも気付かせる。
- ふりかえる段階ではクイズ形式でやり取りする活動を取り入れ、見方を広げることにより、話し合いの楽しさを感じ取らせ、表現する力を育てる。

こんな力を

- 自分が思ったこと、考えたことを理由をはっきりさせて、相手に分かるように話すことができる。
- 話し手の考えを聞いて、質問したり感想を出したりしながら、話題に沿って話し合うことができる。

4. 主な学習活動と内容・評価規準および教師の支援 (4時間)

学習過程 (配時)	主な学習活動と内容	評価規準 (評価方法)	教師の支援
つ か む — 1 —	1. 教科書のちぎり絵や教師が提示したちぎり絵を見て、何に見えるか考え、思いついたことを話し合う。 ① ○ 自分の考えの発表 ○ 友だちの話を聞き、おもしろいと思う点	【関・意・態】 形を見て、思いついたことを進んで発言しようとしている。 (行動観察・自己評価カード)	※ いろいろな向きから見ることで発想が広がることを知らせ、自由な発想を大切にする。 ※ 何に見えるか理由をつけて話すことが大切なことに気付かせる。
さ ぐ る — 2 —	2. 二人組で、何に見えるか理由をはっきり言って、話したり、聞いたりする。 ① ○ 紙をちぎっての形づくり ○ ちぎった紙から想像 ○ 想像したものの理由説明 ○ 質問や感想	【話す】 自分の考えと理由を相手に分かりやすく話している。 (行動観察・自己評価カード) 【聞く】 理由が分かるように話を最後まで聞いている。 (行動観察・自己評価カード)	※ 自分でちぎった紙をよくながめ、向きを変えたりしながらどんな形に見えるか考えさせる。 ※ 何にするか考えずに自由にちぎらせる。 ※ 見え方、理由の順序で話させる。 ※ 聞き手にとって何が大切か考えさせる。
本 時 3 / 4	3. 四人グループで何に見えるか質問や感想を出し合いながら話し合う。(本時) ① ○ ちぎり絵選び ○ ちぎり絵から想像 ○ 話し合い ・見え方を付箋に書く。 ・自分の見え方を話す。 ・質問や意見を出し合う。 ・上記を四人が同じように話し合う。	【話し合う】 友だちの意見を聞き、進んで質問や感想を出し、話題に沿って話し合っている。 (行動観察・自己評価カード)	※ 話し合いを進めるのに大切なことを考えさせるためにモデルを使う。 ※ 話題をはっきりさせたり、話し合いの広がりを実感させたりするために見え方を付箋に書いてちぎり絵に貼らせる。
ふ り 返 る — 1 —	4. クラスで「何に見えるかなゲーム」をする。 ① ○ ゲームのやり方 ・グループでちぎり絵を一つ選ぶ。 ・学級全体にクイズを出す。 ・見え方を発表し合う。 ○ 「何に見えるかなゲーム」 ○ ゲームの感想の交流 ○ 学習のまとめ	【話し合う】 話題に沿ってやりとりをしている。 【関・意・態】 自分の考えをもって話を聞き、楽しんでゲームに参加している。 (行動観察・自己評価カード)	※ グループの中で、いろいろな発想が出ているちぎり絵を選ばせる。 ※ 理由をつけた発表や話題に沿った発言を賞賛する。

6. 本時目標

- ちぎり絵を見て何に見えるか思いついたことをその理由を加えて話し、質問や意見を出し合いながら、進んで話し合うことができる。 【話し合う】

7. 本時指導の考え方

前時まで子どもたちは、既存の形や自分で作った形を使って思いついたことを見つけ、二人組で何に見えるかのやりとりをしている。その時に、見方を変えるといろいろなものに見える楽しさを経験し、自分の見えた形を説明するためには理由をはっきり言わなければいけないことに気付いている。

本時は自分がちぎった形を使い、自分は何に見えるか、なぜそう思ったのかをグループの友だちに伝え、お互いに意見を交流する学習である。自分たちが作った形なので、発想も広がりやすく、「話したい、聞きたい」という意欲を持たせることができると考える。そして、進んで自分の考えを友だちに話したり、質問や意見を出したりすることができ、意欲的な話し合いにつながると考えられる。

まず、児童のちぎり絵をいくつか見せて、二人組でのやりとりをふり返らせる。その時、隣どうしで見え方が違っていたことをおさえ、もっと多くの人に自分の考えを言いたい、もっと多くの人を考えを聞きたいという意欲を持たせる。そのために、実際に話し合いをする前にモデルを聞かせて、一つの見え方にみんなが質問したり感想を言ったりした後で、次に他の見え方について話し合っていることをおさえる。

次に、4人グループで何に見えるかについての話し合いをする。ちぎった形をよく眺めたり、向きを変えたりしながらどんな形に見えるかをよく考えさせて、自分の考えをもたせるようにする。それを理由をはっきりさせて友だちによく分かるように話させる。聞いて分からない部分は率直に尋ねるようにさせ、話し手は尋ねられたら丁寧に答えるようにさせる。また、一つの見方を付箋に書いてちぎり絵に貼らせることにより、話題をはっきりさせ、話し合いの広がりを実感させるようにする。そして、友だちの発想のよさ、話し方のよさに目を向けた質問や感想が述べられるように助言する。また、それぞれの発想を大切に、違う見方を出し合うことにおもしろさを感じるようにさせたい。



最後に、今日の話し合いをふり返らせて、めあてにそって話し合うことの楽しさを発表し合い、次時は学級全体でゲームをしようという意欲につないでいきたい。

8. 準 備

(児 童)ちぎり絵用の色画用紙、台紙(円い形)、付箋、自己評価カード

(教 師)掲示用のちぎり絵、話し合いモデル(録音、掲示用)

9. 本時学習の展開

主な学習活動 と 内容	教師 の 支援
1. 前時までの学習を想起し、本時のめあてを確認する。 ○ 学習の想起 ○ めあての確認	※ 本時学習に意欲を持たせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> めあて ちぎり絵が何に見えるか、グループで自分からすすんで話し合おう。 </div>	
2. 友だちの作ったちぎり絵を見て、話し合いの仕方が分かる。 ○ 質問や意見の出し方 3. グループごとに何に見えるかについて話し合う。 ○ 話し合いの手順 <ul style="list-style-type: none"> ・ちぎり絵を選ぶ。 ・ちぎった形をよく眺めたり、向きを変えたりしながらどんな形に見えるかをよく考えて、自分の考えをもつ。 ・順番に自分の考えを話す。 ・話し手の考えを受けて質問や感想を出し合う。 	※ 前時に作ったちぎり絵を使い、向きを変えたりするといろいろな考えが浮かんだことをふり返らせる。 ※ 理由をつけて話したり、形をどのように見たらそう見えるのかを尋ねたりする大切さを確認する。 ※ モデルを聞かせたり、模造紙で掲示したりして、一つの考えに対してどのように質問や意見を出しているかを考えさせる。 ※ 一つの見方を一枚の付箋に書いてちぎり絵に貼らせ、話題をはっきりさせる。 ※ 聞いて分からないところがあれば尋ね、聞かれたら丁寧に答えるように助言する。 ※ それぞれの発想を大切にしながら考えを出し合うことにおもしろさを感じるようにさせる。
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 150px;">わたしは、きりんに見えます。上が頭で、ほそながいところが首です。</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 150px;">ぼくもきりんに見えます。ここのとがったところが口です。</p>  </div> </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> 評価規準 【話し合う】 友だちの意見を聞いて、進んで質問したり感想を言ったりしながら、グループの友だちと話し合っている。 (行動観察) </div>	
4. 今日の学習のふり返りと次時の予告をする。 ○ 話し合いのふり返りとまとめ ○ 次時学習の確認	※ 今日の話し合いで楽しかったことやうれしかったことを発表させる。 ※ 話し合いをするときに大切なことをまとめる。 ※ 次時は学級全体で「何に見えるかなゲーム」をすることを伝える。 ※ 自己評価カードに記入させる。

